

来週の「売り物」記事はこれ



2014年1月24日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

イラク拘束事件 10年「自己責任」批判乗り越えて

最年少人質の「それから」 26日(日)



覚えているでしょうか。2004年4月、イラクで3人の日本人が武装勢力に拘束された事件のことを。無事に解放されましたが、帰国した3人を待ち構えていたのは激しいバッシングの嵐でした。「自己責任」という言葉があたかも大義名分のように語られ、政府、そして一部のメディアから指弾されたのです。最年少だったのが今井紀明さん=写真、



当時18歳でした。極度の対人恐怖症に陥り、自殺も考えたといいます。幾たびかの挫折、立ち直りを経て、このほど引きこもりの若者支援のNPOを立ちあげました。自身の体験を踏まえて言います。「どんなに否定されても、生きる価値がある」。苦悩と成長の軌跡を追います。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

続報真相 TOKYO 漂流票を読む

夕刊2面特集ワイド 31日(金)



23日告示された東京都知事選は、新人16人が立候補しました。事実上、舛添要一候補・安倍晋三首相と細川護熙候補・小泉純一郎元首相のガチンコ勝負になりそうです。脱原発という全国レベルの問題が一大争点です。石原慎太郎氏、猪瀬直樹氏らをお勝りさせた都民票は今回、どこに流れるのでしょうか。漂流票はしばしば「無党派」と言われますが、本当に党派性はないのでしょうか。識者ととともに考え、都知事選の票の行方を予測します。

「女の気持ちをたずねて」

おんなのしんぶん面 27日(月)



今回は「女の気持ちをたずねて」の筆者のうち、唯一の若手である東京社会部の黒田阿紗子記者が、2人とも育児休暇を取った群馬県太田市の夫婦を取材。支え合って2人の子供を育てる家族のきずなを描きました。



連載 「認知症新時代」反響

くらしナビ面 28日(火)



1月1日から6回にわたって掲載した連載「認知症新時代」。認知症患者本人の切実な思いを紹介した「第1部・私らしく生きる」には、多くの反響が寄せられました。当事者や家族から届いた切実な声を紹介します。

みんなの「オペラ鑑賞」 くらしナビ面 27 日(月)～29 日(水)

「一度はオペラを見てみたい」と思いながら、気後れしてなかなか鑑賞する機会がない人も多いはず。舞台芸術の最高峰といわれ、鍛え抜かれた美しい歌声と一流のオーケストラによる生演奏の迫力は格別です。日本唯一の国立オペラハウスである新国立劇場=写真=の制作部オペラ専門職員、桑原貴さんに、魅力と見方を聞きました。3回連載です。



ソチ五輪「メダル直前展望」 28 日(火) から 7 回



2月7日に開幕するソチ冬季五輪。日本代表選手がほぼ出そろい、今回は過去最多のメダル10個(金5、銀1、銅4)を獲得した98年長野冬季五輪を超えるメダル数が期待されます。スピードスケート男子500m、ノルディック複合女子、フィギュアスケート女子、フィギュアスケート男子、など7競技に注目。日本選手や海外のライバル選手のコンディションなどを分析し、今季の戦績表、世界ランキングなどとともにメダル期待度を報告します。